

授業や活動の

実践報告を募集しています!

「先生のためのツールボックス」に掲載されているさまざまな指導案や活動のヒントを活用した授業や取り組み、また、「子どもの権利が守られる学級目標づくり」の実践報告などを募集しています！

(※お寄せいただいたご報告やご意見は、事前にご承諾をいただいたうえで、当協会の資料やホームページ等でご紹介させていただくことがあります。)



■ご報告はこちらのフォームから
<https://taylori.com/f/kodoken-reportform>



■PDF版もダウンロードいただけます
<https://www.unicef.or.jp/kodomo/cre/action/reportform.pdf>
送り先はこちら▶ E-mail: se-jcu@unicef.or.jp
Fax: 03-5789-2034



ご報告いただいた学校・園やクラスには／

感謝のしるしとして **参加賞(賞状)** をお贈りいたします。
また、活動に参加された児童・生徒や園児の皆さんには、
「子どものけんりプロジェクト」の **ステッカー** を差し上げます。



参加賞

参加賞は郵送でお送りします。
ぜひ学校・園内や活動をされたクラスに掲示してください！



ステッカー

園児・児童・生徒の皆さんに、ひとり一枚ずつお配りいただけるステッカー(A6サイズ)
裏面には「子どものけんりプロジェクト」のテーマソング「こえ」のうたの歌詞も載っています。

たくさんのご応募をお待ちしています！

子どものけんりプロジェクト

「子どものけんりプロジェクト」は、日本ユニセフ協会と子ども家庭庁共催のキャンペーンです。日本における「子どもの権利」の正しい理解と普及を通じて、子どもたちのウェルビーイングの向上を目指しています。



特設サイトはこちら
<https://www.unicef.or.jp/kodoken/>



ジーン&ケーン

「子どものけんりプロジェクト」応援キャラクター。記者コンビ。子どもの悩みや、身の回りで気になる疑問について調べる。



ジーン ケーン ©NED

「子どものけんりプロジェクト」先生のためのツールボックス
制作：日本ユニセフ協会／NHKエデュケーション

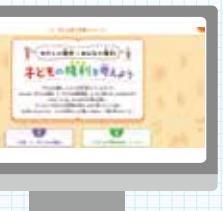
授業で使える資料・ウェブサイト



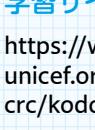
子どもの権利条約
カードブック
(B5 冊子 / 30 ページ)



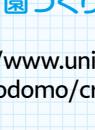
学習資料 子どもの権利条約
第1～40条抄訳一覧付き
(A3 / 1枚 / 両面)



子ども向け
「子どもの権利」
学習サイト



CRE ウェブサイト
子どもの権利が守られた
学校・園づくり



資料請求はこちらから

※学校・園からご注文いただく際には送料はかかりません。実費ご負担分については、資料送付時に同封する振込用紙にて後日送金をお願いいたします。

学校・園名			
ご担当者名(職)			
学校／園住所 (送付先)	〒		
電話番号	Eメール		
希望資料 (希望数をご記入ください)	冊子名	値段	希望冊数
	子どもの権利条約カードブック	1冊目無料 / 2冊目から 60円	部
学習資料 子どもの権利条約	無料 (児童・生徒数分のご提供も可能です)	部	

送信先

FAX

03-5789-2034

Eメール

se-jcu@unicef.or.jp



子どものけんりプロジェクト 「先生のためのツールボックス」

「子どもの権利条約」を日本が締結してから30周年の2024年に、日本ユニセフ協会と子ども家庭庁の共催でスタートした「子どものけんりプロジェクト」。子どもの権利についての正しい理解と普及を通じて、子どもたちの心身の健やかな成長とウェルビーイングの向上を目指すキャンペーンです。ウェブページ「先生のためのツールボックス」では、学校や園で、先生も子どもたちと一緒に楽しく学び考えることでできる、さまざまな動画や教材をご提供しています。ぜひ、授業や行事などでご活用ください!



「子どもの権利」について学べる動画

ジーン&ケーン 学んでみよう!子どもの権利

ジーン&ケーンが「子どもの権利」について突撃取材!「子どもの権利」について、楽しくわかりやすく学べる動画です。



ジーン&ケーン ©NED

キャンペーンソング「こえ」のうた

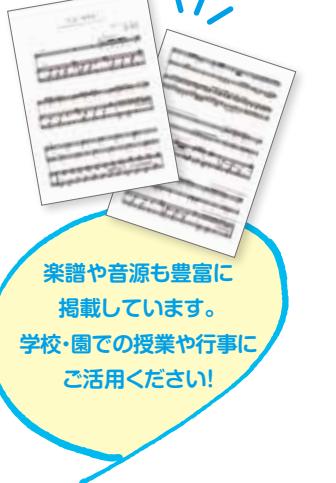
「子どもの権利条約」の4つの原則の一つ、「子どもの声を聴くこと」をテーマにしたキャンペーンソング。

「こえ」は、一人ひとりの気持ち、思いや意見、ありのままの自分、そして権利のたとえです。



うた:みー(満島ひかり)とNHK 東京児童合唱団

日本語・英語・合唱バージョンのほか、インクルーシブバージョン※もあります。(※障がいのある子もない子も共に「うたつて」います。メイキング映像付き。)



「あたりまえ認定」シリーズ

NHKの人気アニメシリーズ「アイラブみー」をもとに制作された、低年齢向けのストーリー。みーと仲間たちがさまざまな体験をおして、自分たちの大切な権利について気づいていきます。



「アイラブみー」 ©NHK

指導案&模擬授業・実践授業の紹介

指導案や板書例、授業で使えるワークシートなど



楽譜や音源も豊富に掲載しています。
学校・園での授業や行事にご活用ください!

模擬授業動画

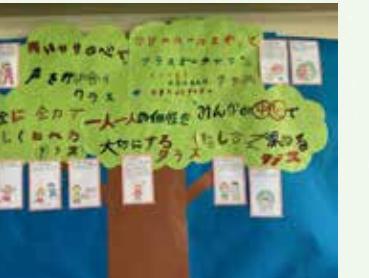


実践授業動画やレポート



つくってみよう! 「子どもの権利を大切にする学級目標」

子どもたちのウェルビーイングのために、ユニセフが提唱している「子どもの権利を大切にする学級目標づくり」。この取り組みは、先生も子どもたちも共に「子どもの権利」について学ぶところから始まります。そして、一人ひとりの権利が大切にされる、みんなにとって過ごしやすく学びやすい学級をつくるために、自分たちにできることは何か、また権利を尊重するとはどういうことか、みんなで考え、学級目標としてまとめていきます。年度初めの学級目標づくりに、ぜひ「子どもの権利」の学びと視点を取り入れてみてください!



学級目標づくりのプロセス

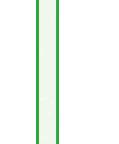
① 権利を知ろう

「子どもの権利」について知ることから始めよう。「子どもの権利条約」にはどんな権利が定められているのか、またこれらの権利を自分たちのために、またみんなのために、どのようにして守っていくかを考えよう。



② 選んでみよう

自分たちの学級をよくしていくためには、どの権利が特に大切であるか考え、選んでみよう。選んだ権利を自分たちのために、またみんなのために、どのようにして守っていくかを考えよう。



③ 書いてみよう

選んだ条文をもとに、自分たちの言葉で「学級目標」をつけてみよう。「学級目標」の内容が「子どもの権利条約」に沿っているか、ふりかえりながら考えよう。該当する条文を添えるのもよい。



④ 掲示しよう

できあがった「学級目標」を、教室のみんなから見える場所に掲示しよう。また「学級目標」を定期的にふりかえり、よりよい学級をつけていくために話し合いを続けていこう。



参考資料のご案内

西東京市立保谷小学校で実施された「子どもの権利を大切にする学級目標づくり」の実践事例を、ウェブサイトや冊子にてご紹介しています。また、授業展開を簡潔にまとめた「授業プラン」もあります。

日本での実践記録 私たちの権利を大切にする学級目標づくり



<https://www.unicef.or.jp/kodomo/cre/action/classcharter-hoya/>



つくってみよう! 「子どもの権利を大切にする学級目標」



<https://www.unicef.or.jp/kodomo/nani/siryo/pdf/CREjissen.pdf>
(左のウェブサイトからもダウンロードいただけます。)

